

第5回沼津市議会定例会

一 般 質 問

* 一般質問は、「一括質問一括答弁方式」、「一問一答方式（一問一答及び複合）」により実施します。

- ・「一括質問一括答弁方式」：通告した全ての質問を1回目に行い、答弁に対する再質問として2回目及び3回目の質問を行う。
- ・「一問一答」：通告に沿って1回目から、全で一問一答により質問を行う。
- ・「複合」：1回目は一括質問一括答弁方式で行い、2回目以降から一問一答に切り替えて行う。

令和6年6月12日、13日、14日

令和6年6月12日（水）午前10時から			
順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
1	8番 村木豊 *一括方式	1 選挙投票率の向上に向けた取組について (1) 県知事選挙における本市投票率の認識 (2) 市長選挙・市議会議員選挙における投票率の推移と認識 (3) 現在の投票率に至った要因と、これがもたらす市政への影響に対する認識 (4) 選挙終了後の投票行動の分析に対する必要性とその手法 (5) 井田・舟山地区の移動期日前投票所開設の経緯と効果 (6) これまでの投票率向上への取組とその効果 (7) 小中学校での主権者教育に対する取組 (8) 期日前投票所の拡充の考え (9) 共通投票所の開設の考え 2 市内DXの推進について (1) 標準準拠システムへの移行の進捗状況と課題 (2) デジタル人材育成の状況と課題 (3) 自治体窓口DX SaaSの導入の考え (4) マイナンバーカードの利活用	市長 教育長 選挙管理委員会 委員長 関係部長

順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
2	27番 植 松 恭 一 *一問一答	1 高齢者等交通弱者の支援について (1) 免許の自主返納 ① 高齢者の運転中の交通事故の現状 ② 運転免許証の自主返納促進の取組 ③ 返納後の移動手段確保の必要性の認識 ④ 高齢者のバス利用の促進 ⑤ 公共交通機関の乗換え等の検索が難しい方への対応 ⑥ 路線バスの運行本数についての認識 ⑦ 路線バスの運転手不足や確保についての認識 (2) 買物弱者対策 ① 移動販売事業がもたらす効果と認識 ② 今後の対応 2 今後の教育について (1) 小中一貫学校の今後の対応 3 EV普及促進に関する取組について (1) EVの可能性と市内の普及状況 ① 本市のEVに関する認識 ② 市内のEV普及状況の分析 (2) EV普及に向けた取組 ① 本市のこれまでの取組と進捗 ② 実績に関する認識 ③ 今後の施策 (3) EV普及促進のための啓発、施策の周知 ① 啓発、周知の実施状況 ② 今後の啓発の方策と事業者との連携	市 長 教 育 長 関 係 部 長
3	5番 佐 藤 健 一 郎 *一括方式	1 南海トラフ巨大地震などの大規模地震発生後のスムーズな復旧対応 (1) 南海トラフ巨大地震などの復旧に関する災害時協定書の考え方 (2) 停電が復旧した際の通電火災に対する対応の考え方 (3) 指定避難所に対する迅速な建物の危険度判定の考え方 2 本市の自転車の交通安全対策 (1) ヘルメット着用の努力義務化に対する現状と認識 (2) ヘルメット着用率向上に向けた取組	市 長 関 係 部 長

令和6年6月12日（水）午後から

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
4	6番 大 草 満 ＊一括方式	1 スポーツまちづくりの推進について (1) 「フェンシングのまち沼津」ブランドの確立について ① まちの活性化を目的とした持続可能な「フェンシングのまち沼津」への取組状況と今後の展望 ② 「フェンシングのまち沼津」に対する市民意識と課題を把握するための調査 (2) する・みる・ささえるスポーツイベントの実施について ① 沼津マラソン大会の実施 2 安心して子どもを産み育てられるまちづくりについて (1) こども家庭センターについて ① こども家庭センター開設による従来からの改善点と課題 ② 地域資源開拓の方針 ③ こども家庭センター、教育委員会、青少年教育センターとの連携 (2) 子どもの意見集約の手段と反映させる施策の範囲について (3) 子ども憲章の制定について	市長 教育長 関係部長
5	21番 深 田 昇 ＊一括方式	1 カスタマーハラスメント（カスハラ）について (1) カスハラ行為と不当要求行為との違いに関する本市の認識 (2) 市内企業におけるカスハラについて ① 被害の状況 ② 市から企業への周知・啓発・指導などの取組状況 (3) 市職員及び教職員に対するカスハラについて ① 被害の状況 ② 本市の取組について ア 対応方針と判断基準の明確化 イ 対応方法のマニュアル化と研修 ウ 相談体制の整備 エ 組織内外への発信 オ 実施している具体的なカスハラ対策の内容と成果 (4) 今後の対応	市長 教育長 関係部長

順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
6	23番 渡部 一二実 *一括方式	<p>1 マンション管理計画認定制度を活用した管理組合の運用力向上について</p> <p>(1) 本市における分譲マンションの数量と管理組合の設置状況</p> <p>① 全体の建物数と管理組合の設置状況</p> <p>② 旧耐震基準の建物数（内数）と管理組合の設置状況</p> <p>③ 築60年以上の建物数（内数）と管理組合の設置状況</p> <p>(2) 本市における分譲マンションの建て替え又は除却の実績件数</p> <p>(3) マンション管理計画認定制度に関する認識と本市における認定件数</p> <p>(4) 大規模災害に対する予防及び被災したマンションの改修や建て替えを円滑に進められる専門家派遣事業の状況</p> <p>(5) マンション管理計画認定制度にのっとり認定件数向上への対応策</p> <p>2 住民自治組織である単位自治会への未加入者対応策について</p> <p>(1) 単位自治会への未加入者に対する認識</p> <p>(2) 単位自治会への加入者を増加させる支援策</p> <p>(3) 自治会未加入者問題の中で緊急を要する課題への対応策</p> <p>① 未加入者に対するごみ集積場所使用禁止措置の是非</p> <p>② 自主防災活動における自治会未加入者の取扱い</p>	市長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
7	25番 渡邊博夫 *一括方式	<p>1 本市の広報戦略とシティプロモーションについて</p> <p>(1) 広報戦略</p> <p>① 基本的な考え方</p> <p>② 目的に応じたメディアの使い分け</p> <p>③ 情報の受け手からの意見聴取</p> <p>④ 外国人や障がいのある人への広報</p> <p>(2) シティプロモーションの役割と推進体制</p> <p>① 地域内に向けたシティプロモーション</p> <p>② 地域外に向けたシティプロモーション</p> <p>③ 推進体制</p> <p>(3) 目的別に見たシティプロモーションの今後の展開</p> <p>① 市民の愛着を育むためのシティプロモーション</p> <p>② 移住推進のためのシティプロモーション</p> <p>③ 観光誘客のためのシティプロモーション</p> <p>④ 投資を呼び込むためのシティプロモーション</p> <p>(4) これからの100年に向けたシティプロモーション</p> <p>2 本市の脱炭素社会実現に向けた取組について</p> <p>(1) 再生可能エネルギーの導入ポテンシャル及び水素エネルギーの可能性</p> <p>① 導入ポテンシャルの現状</p> <p>② 水素エネルギーに対する認識</p> <p>(2) 「ゼロカーボンシティNUMAZU2050」の取組</p> <p>① 具体的な取組とその進捗</p> <p>② 取組に対する市民及び事業者のリアクション</p> <p>③ 脱炭素社会実現に向けた条例の制定</p> <p>(3) 環境教育及び周知活動</p> <p>① 環境教育に対する認識</p> <p>② 事業者との協働</p> <p>③ 広報活動</p> <p>3 本市の高齢者の介護予防に対する積極的支援の必要性について</p> <p>(1) 増加する高齢者と共に上昇する介護給付費に対する認識</p> <p>(2) 介護予防に関する取組の成果と課題</p> <p>(3) 先進地に見る「リエイブルメント」の視点からの新たな取組の必要性</p>	市長 教育長 関係部長

令和6年6月13日（木）午前10時から

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
8	16番 小澤 隆 *複合方式	1 本市の広報について (1) 現状の広報の手段 (2) 広報の対象に関する考え方 (3) 専門家の知恵やリソースの活用 (4) 広報アドバイザーの活用 (5) スキルアップに関する庁内での情報共有 (6) 今後の広報の展望	市長 関係部長
9	15番 井原 三千雄 *一括方式	1 人口減少に対応したまちづくりについて (1) 人口減少に対する認識 (2) 移住促進の取組 ① 生産年齢人口の増加と企業誘致 ② 移住・定住ポータルサイトの運用と成果 ③ 福祉と教育が連携した特色ある子育て支援 ④ 安全で暮らしやすい地域づくりへの土地利用の見直し ⑤ 移住定住基礎調査の実施 (3) 本市職員の人材育成 ① 職員研修の取組 ② 人事異動の考え方	市長 教育長 関係部長
10	14番 佐野 博一 *一括方式	1 興国寺城跡の整備と将来的な活用について (1) 興国寺城跡の歴史的価値に対する認識 (2) 用地取得等の状況 (3) 将来的な整備活用の見通し (4) その他の西部地区の歴史的資産との連携や周知活動 2 上下水道の整備について (1) 上下水道の老朽化対策 ① 上水道の老朽管対策の計画 ② 上水道の老朽管対策に係る費用及び財源 ③ 下水道の老朽管対策及び耐震化 (2) 地震発災時の生活用水の確保対策	市長 教育長 関係部長

令和6年6月13日（木）午後から

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
11	9番 小泉宣子 ＊一括方式	1 持続可能な学校教育について (1) 小学校における教科横断的な学習について ① 「言語科」への取組に対するこれまでの評価と課題 ② 「総合的な学習」への取組に対するこれまでの評価と課題 ③ 「STEM教育」に対する認識 (2) 小中学校における不登校児童生徒への支援について ① オンライン授業を活用した学びの充実に向けた取組 ② フリースクール等の通所に係る費用の補助導入に対する認識 2 公園の整備と利活用について (1) 民間活力導入による効果への認識と今後の方針 (2) インクルーシブ遊具及び健康遊具の設置に対する認識	市長 教育長 関係部長
12	20番 長田吉信 ＊複合方式	1 災害に強いまちづくりについて (1) 令和6年能登半島地震後の防災・減災対策について ① 能登半島地震の被災状況の認識 ② 防災・減災対策への取組 ③ 感震ブレーカーの普及促進 ④ 災害時におけるトイレ対策の推進 ⑤ 在宅避難に向けた取組 ⑥ 避難所におけるスフィア基準への取組 ⑦ 事前復興計画の策定への取組 2 子どもと未来のまちづくりについて (1) 子どもにやさしいまちづくり事業の推進について ① 子どもの権利に係る教育や啓発活動の推進 ② 子どもたちがまちづくりの協議に参加できる仕組みや制度の整備 (2) フューチャーデザイン手法の積極的な活用について ① フューチャーデザイン手法とバックキャストを活用した持続可能なまちづくり ② フューチャーデザイン手法を政策立案に取り入れるための組織の整備	市長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
13	1番 川口慶 *一括方式	<p>1 本市の農業政策について</p> <p>(1) 第5次沼津市総合計画における本市の農業政策について</p> <p>① 農業政策に対する基本的な考え</p> <p>② これまでの取組の具体的な内容</p> <p>③ 取組の成果</p> <p>④ 今後の課題</p> <p>(2) 沼津市農業再生協議会水田収益力強化ビジョンについて</p> <p>① 取り組まれてきた施策の内容</p> <p>② 取組の成果</p> <p>③ 今後の課題</p> <p>(3) 農作物の安全性について</p> <p>① 農作物の安全性の認識</p> <p>② 耕作土壌や用水の水質の安全性の認識</p> <p>③ 農業が及ぼす環境や生態系への影響の認識</p> <p>④ 収穫物の検査の認識</p> <p>(4) 農業の担い手育成や経営支援について</p> <p>① 本市として農産物の価格保証・所得補償への認識と具体的な支援策</p> <p>② 沼津市スマート農業導入支援事業の周知</p> <p>③ JAとの協力体制の内容</p> <p>④ JAとの協力体制の今後の展開</p> <p>(5) 農業委員と農地利用最適化推進委員について</p> <p>① 農業委員の役割</p> <p>② 農地最適化推進委員の役割</p> <p>③ 活動の具体的な成果</p> <p>(6) 本市の今後の農業政策の認識</p>	市長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
14	2番 高橋 秀子 *一括方式	1 平和行政について (1) 平和に向けた取組 2 自衛官募集に係る対象者情報の提供と情報提供の除外申請申出について (1) 対象者情報の提供根拠及びこれまでの経過と提供に係る認識 (2) 現在の提供状況 ① 提供の具体的な方法 ② 提供した名簿の管理 (3) 除外申請申出 ① 申出の方法 ② 今までの実績 ③ 周知の方法 3 本市の納骨堂について (1) 現在の管理運用 ① 受入れ対象者 ② 全体数と近年の受入れ件数、引取り件数 (2) 今後の需要の見通しと運用方針	市長 関係部長
令和6年6月14日（金）午前10時から			
15	18番 山下 富美子 *複合方式	1 障がい者及び難病者を取り巻く環境について (1) 沼津市の障がい者及び難病者の現状と取組 ① 現状と傾向 ② 福祉サービス等 ③ 障がい福祉計画等における難病者への支援の明確化 (2) 沼津市の就労について ① 障がい者及び難病者の雇用促進に係る取組や見解 ② 本市役所における障がい者雇用の取組及び難病者の採用の取組 2 沼津市のごみ集積場所について (1) ごみ集積場所の現状と設置形態 (2) 設置基準と選定 (3) 人身事故を受けて ① 調査の状況と課題 ② 沼津市の責務 ③ 今後の取組	市長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
16	10番 大場 豪文 *一括方式	1 統一的な基準による地方公会計について (1) 財務書類等の公表 (2) 財務書類等の活用 (3) 財務書類作成のための職員のスキルアップ	市長 関係部長
17	11番 平野 謙 *一問一答	1 ストリートスポーツパークについて (1) 現在の状況について ① これまでの取組に対する評価 ② 運営上の課題 ③ 利用者の意見を反映させる取組 (2) 今後の活用について ① 利用者からの要望状況 ② 社会実験終了後の検討状況と見通し ③ 杉崎町4号管理地の今後の活用予定 ④ 民間との連携に対する認識 2 本市におけるスクールソーシャルワーカー活用事業について (1) 現在の状況について ① スクールソーシャルワーカーの役割と配置状況 ② 主な業務内容と活動状況 ③ 現在の活用状況に対する認識 (2) 今後の取組について ① 今後の配置・活用の見通し ② 学校現場におけるスクールソーシャルワーカーの位置づけに対する認識 ③ 福祉部局と教育委員会の連携に対する認識と具体的な取組	市長 教育長 関係部長